V章における新規項目一覧 資料4-2

	基本目標	新たな基本的方向の項目	主な新たな取組など
1	ひと: すべての人を大事にし、育てるまち	・文化財を「知る・守る・活かす」取組の推進 ・幅広い世代のスポーツを通じた体力・健康づくり	・保育料・放課後児童クラブの無償化、学校給食への支援 ・子育て支援拠点施設による子どもの居場所確保 ・施設長寿命化などによる学習環境の整備 ・生涯学習の場や環境、機会の充実・提供 ・地域文化に関わる教育機会の充実や後継者の育成 ・津久見高校への市内進学者への支援充実 ・市の事業等における積極的な連携
2	しごと: 多様な産業で豊かさを感じるまち	・新たな産業創出の可能性模索 ・働きやすい職場の確保のためのワークライフバランスの推進	・柑橘等の品種開発、官民連携による高付加価値化、水産物を通じた新たな食イベントの検討 ・基幹産業の発展に加えた新たな産業の可能性の検討 ・農業基盤整備による作業の効率化・機械化、漁業基盤整備 ・外国人材受け入れのための環境づくり ・移住・定住促進の窓口設置、就労支援等のための施設整備 ・多様な働き方の提案や企業とのマッチング、ライフワークバランス向上に向けた啓発 ・マルチワーカーなどによる雇用拡大・人手不足解消、ワーキングスペースの確保
3	まち: 誰もが安心と楽しさを実感して暮らせ るまち	・市役所新庁舎やつくみん公園を核とした市中心部の活性化 ・中心となるキーパーソンを発掘・育成 ・旧学校施設や現市役所庁舎跡地等の利活用の検討	・WEB版津久見市防災マップを活用した避難の迅速化 ・防災士の育成やスキルアップなどを含む連携強化 ・介護、福祉、保育サービス等における人材確保 ・路線バスや乗合タクシーの低廉な運賃体制による利便性向上 ・県や市内事業と連携した若い世代からの健康づくりの意識づけ ・多様性を認め合い、自分らしく生きることができる地域社会の構築 ・市役所新庁舎及び周辺環境の整備による中心部の回遊性・滞在性向上 ・中心市街地活性化のためのエリアプラットフォームの構築 ・公有財産や地域資源の有効活用 ・津久見ならではの素材をいかした観光振興、各団体と連携した市内への誘客 ・行政機能のデジタル化
4	ゆかり: 津久見との「ゆかり」を大切に、新し い人やものの流れをつくるまち	・津久見で育った若い世代が、津久見市外にいても津久見に想いを馳せ、いつかは帰りたいと思ってもらえる関係づくり	・津久見出身者が集う場などでの情報発信 ・「いつかは津久見に帰りたい」と思ってもらえるような、ふるさと教育などによる津久見への愛着や津久見を想う心の醸成 ・イベントや仕事等をきっかけとした津久見FANの構築 ・オーナー制度などによる関係人口の創出